

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町市 SDGs 学習旅行誘致協議会事業
事業主体 (連絡先)	大町市 SDGs 学習旅行誘致協議会 大町市大町 3887 番地
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,001,047 円 (うち支援金 : 1,421,000 円)

事業内容

大町市にある水やエネルギーに関わる観光資源を中心に作成した SDGs 探究学習プログラムによる学習旅行誘致のため受入態勢整備とモニターツアー実施による旅行業者への周知やアンケートによる改善、市民見学会実施により地域への愛着を深め将来的には地域の皆様と取り組む活動を目指す。



【7/28 市民見学会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①支援金を活用したモニターツアーの実施後にセールスも行き、2024年4月に200名の学習旅行受入が決定。地元の大町中学校180名にも総合学習で利用いただいた。

②旅行業者向けモニターツアーの実施と市民見学会を実施し大町の体験プログラムの周知を進めるとともにアンケートを実施し改善点を見つけブラッシュアップを図っている。

③プログラムを繋ぐファシリテーターの育成、市民見学会実施による地域の魅力再発見と協議会の取り組みに一定の理解を得ることができた。

【目標・ねらい】

- ①SDGs 体験プログラム活用による学習旅行の受入増
- ②プログラムの周知・ブラッシュアップ
- ③受入環境整備

※自己評価【B】

【理由】

モニターツアーと市民見学会は参加人員が目標に届かなかったが、参加者の満足度は高く多くの意見もいただき、大町中学校(180名)の利用や来年4月の学習旅行獲得(200名)にも繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

学習旅行誘致のためには体験プログラムをより選ばれるものとするためのブラッシュアップと受入環境整備を行いながら旅行会社への継続的な周知活動(セールス)を続けていく必要がある。続けていく必要がある。今後も引き続きプログラムの改善・ガイドのスキルアップを図るため、モニターツアー実施や市民等への周知活動を継続し、学習旅行受入増を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある